

////////////////////////////////////NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (☎080-4540-3553)

## 3月の「どんぐりsカフェ」から 「地域包括ケア」欠かせぬ市民の監視

私たちが病にかかった時、あるいは、ケアが必要になった時、一体、どうなるの？ そんな心配を誰もが抱く。3月19日の「どんぐりsカフェ」は、それらの疑問に答えるべく「地域包括ケアと地域医療はどうなるの？」と題して、東海記念病院地域包括・訪問診療部の杉村公也さんにお話していただいた＝写真。

前半は、「医療介護総合確保推進法」のねらいが「医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供するシステムを地域ごとに作る」

どんぐりsから

●3月5、6日の両日、東部市民センターでUR都市機構による「高森台団地の団地再生事業に係る計画概要説明会」が開催されました。内容は、今後もUR賃貸住宅として活用する継続管理区域と、建物を解体し、新たにまちづくりとして活用する事業区域に分け、事業区域内に居住する方々は概ね2年以内に、継続管理区域もしくはNT内のUR賃貸住宅への移転をお願いする、というものです。

●一方、「高蔵寺リ・ニュータウン計画」へのパブコメに対する市の回答が示されましたが（市の公式ホームページ参照）、この中に、今後のニュータウンの再生においては、URとの関係をどう構築していくかが大事であるという指摘があり、それに対して「検討していきます」との回答がありました。

●NT内の約8000戸のUR賃貸住宅のうちの17%の空き家対策が、単なる赤字解消としてではなく、ニュータウン再生と結びつけ展開されるよう、市の主導性を望みたいものです。  
(藤城 栄一)



ことにあり、公助・共助・互助・自助が適切に分担し合いながら、利用者のニーズに応えるシステムづくりを目指すものである、との説明があった。しかし、その目標・目的実現のための強力なマネジメント機関の設置が必要であり、そのための市民の監視が欠かせないという指摘があった。後半は「高蔵寺リニュータウン計画」や「地域包括ケア団地モデル」にも触れ、行政が地域包括ケアの理念についての住民の理解を求める努力が必要であること、また、「団地モデル」については、NT全域に普及させる努力が必要であるが、「箱物」だけなら必要ないのでは？ といった指摘もなされた。(藤城栄一)

## 2016年度総会のお知らせ

NPO法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議（通称；どんぐりs）の2016年度定期総会と懇話会を以下のとおり開催します。懇話会ではどんぐりs初代理事長曾田忠宏さんから「ニュータウンへの想いとまちづくりへの期待」（仮題）をテーマにお話しをいただく予定です。懇話会は、会員でない方も参加できます。皆様のご参加をお待ちしております。

●とき 5月29日（日）14：00～16：40

総会（14：00～）・懇話会（15：10～）

●ところ 東部市民センター第2集会室

## 「リトルシェフ」と装い新たに T. E. A. パーティー再始動

語らいを通じて（T）、お互いに何か学び（E）、まちづくり活動に結び付けられたら（A）と、始まった「T. E. A. パーティー」ですが、会場の「東部ほっとステーション」を「高齢者・すまい相談会」に譲って、しばらくお休みしていました。このたび、高森台地区に調理ができる場所が見つかり、「調理・食」を加えた「リトル・シェフ」と装いを新たに、試験的に活動を再開しました。

不確定要素が多いのですが、なんとか続けて行くことができれば、と考えています。これま

### 私の朝・昼・晩

#### 障がい者の権利擁護に想うこと

2008年に国連で採択された「国連障害者権利条約」を、2014年1月にやっと日本も批准した。この条約の第12条2項に「締約国は、障がい者が生活のあらゆる側面において他の者との平等を基礎として法的能力を享有することを認める」とうたっている。つまり知的や精神に障がいのある者および認知症の方も、人としての価値と尊厳をもって自己決定も保障される、ということである。障がいを持つ方達に対して、意思決定が出来ない人と決めつけてはいけないのである。

この方達の支援には、支援者の方達を良く理解した上で自己決定を促す努力をすることが大事であり、これが大変難しい。私自身、知的障がい者の支援施設で7年間このような努力をして来たが、利用者さんが満足される支援が出来ていたかどうか疑問が残る。この度訳あってこの施設を辞めることにしたが、この4月から「障害者差別解消法」が既に施行されており、今後は成年後見人としての分野で、障がい者の権利擁護について、自分の納得のいく支援を続けていきたいと思っている。  
(浪川昇三)

で「簡単で美味しいオツマミ／私が勧める一冊」など調理実習と話題の2本建てテーマで開催してきました。今後は、4月22日は「ごった煮の重宝さ／認知症の人に付き合っ」て。5月13日は「手軽に作れるサンドイッチ／集合住宅に住み続けるチョイス」。5月27日は「作り置き一品各種／住み替えの仕組みを考える」などのテーマで開催する予定です。お問い合わせは世話役の松本（080-3659-9091）、または曾田（090-1627-6994）へ。（曾田 忠宏）



「だるま夕日」（高知県・室戸岬） 森 健

### 藤山台小の新校舎内覧会にぎわう

藤山台小、藤山台東小、西藤山台小の藤山台地区3小学校を統合した藤山台小学校新校舎の内覧会が3月28日開かれ、家族連れの住民ら約4500人（春日井市教委発表）が訪れにぎわった。

校舎の内装は、床や壁にたっぷり木が使われ温かい雰囲気。開校時の児童数は約500人。理科室、図工室、音楽室、生活科室など特別教室も充実している。とくに図書室とパソコン学習室を兼ねた開放的な「メディアセンター」や学校運営を支援するボランティアの活動拠点となる「地域連携室」が関心を集めていた。

#### 4月の「どんぐりsカフェ」

テーマ 春日井市の「市民協働」の現状と課題  
講師 寺島 靖夫（当会理事）  
日時 4月16日（土）13時半～16時  
場所 東部ほっとステーション（無料）

### 高齢者すまい相談&困りごと相談

<まずはお電話を> ☎080-4540-3553  
(どんぐりs事務局)  
日時 4月29日（金）13時半～16時  
場所 東部ほっとステーション